

公式記録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高校連サッカー部

令和5年度兵庫県高等学校サッカー新人大会 女子の部

決勝 【 12 】

主審
署名 大谷 美瑛

Table with match details including date (2024年2月4日), time (13:00), venue (アスパ五色 サブグラウンド), weather (曇り), and player statistics for both teams (姫路女学院高校 and 神戸弘陵学園高校).

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

Table showing the goal progression (得点経過) with columns for time, team, scorer, score, and goal type.

戦評 戦評者 所属【有馬 / 三田祥雲館】 氏名【平家 / 浅野】
やや肌寒い微風の中、姫路女学院、神戸弘陵ともに1-4-4-2でスタート。姫路女学院は7桃柄、9長谷がサイドに開き、8大野、10寺澤がボールキープしながら広い展開で攻撃を試みるが、神戸弘陵12岡村7佐治を中心とするディフェンス陣と中盤でのプレスに苦しみ、決定機を作れない。神戸弘陵の2トップ9鈴木、10山田はともに高さで推進力があり、積極的に前線からプレッシャーをかけ、姫路女学院ゴールにせまるが、4林田を中心に神戸弘陵の攻撃を防いだ。そして前半19分、GKのこぼれ球に反応した10山田が得点を挙げると、その後も積極的にディフェンスラインの裏を狙い、2トップのスピードを活かした攻撃を展開した。姫路女学院は後半、左サイドに14滝谷を投入し、カウンターから11奥本の突破力を生かしリズムを変えようと試みるが、なかなかシュートまで持ち込めない。そして神戸弘陵は再三中盤でボールを受けていた6浦田が3笹倉のロングスローからのこぼれ球を得点につなげ、その後も勝利を決定づける3点目を挙げるなど攻守に活躍した。結果的には神戸弘陵の攻撃力が上回ったが、全国高校女子選手権大会に出場した両チームの優勝をかけた熱のこもった素晴らしい試合となった。

[備考]